

分類	連携パターン	他の施策（防災、防犯など）との連携	—
		他の機関（他の自治体、警察、学校、企業など）との連携	○
		市民やNPOとの連携	—
	事業分類	3. スクールゾーン・通学路等の設定	

【事例5】スクールゾーン路面表示（栃木県小山市）

車載ナビゲーション・データを活用し、通学路での急ブレーキ多発箇所に「スクールゾーン」路面表示を行うことにより、ドライバーへの注意を喚起

1. 取り組みの概要

（1）取り組みの背景と目的

- ・危険箇所の対策については、住民から継続的に要請・依頼がある。
- ・他の自治体（栃木県鹿沼市）における通学路での重大な交通事故の発生も契機となった。自動車運転者に、児童が多く危険なエリアであることを示し、さらなる安全運転を促す必要があった。
- ・そこで、民間企業の持つ交通安全対策を実施している他県の取り組みを参考にした。（2010年6月に先進事例として埼玉県を視察済み）

（2）取り組み内容

- ・スクールゾーンにおいて、路面表示を行うことにより、ドライバーへの注意を喚起する事業である。
- ・本田技研工業の車載ナビゲーション・データ（インターナビ）を購入（4月～9月分）し、その中から急ブレーキが3回以上発生している箇所を15箇所抽出した。この中には、スクールゾーンが4箇所含まれていた。
- ・これに学校からの要請を2箇所加え、平成23年度には、学校近辺で6箇所のスクールゾーンの路面表示を実施した。

（3）連携先機関

連携先機関名	連携先機関での本事業配置人数
栃木県警小山警察署	—

（4）事業体制

当該事業予算	617.4 千円／年
本事業担当職員数	3 人

※当市の生活安心課、土木課と小山警察署からなるプロジェクトチームを組成して事業にあたった。中心は、生活安心課である。

2. 取り組みの成果・効果

(1) 実績

- ・平成 23 年度には、小学校 3 校のスクールゾーンにおいて、計 6 箇所のスクールゾーンの路面表示を実施した。敷設費用は、6 箇所計で 1,839.6 千円である。
- ・平成 24 年度は、これらの箇所で、実際に急ブレーキ回数等が減少しているのかどうかを、データで検証している。

(2) 成果

- ・ドライバーに注意を喚起することができた。・表示を実施した小学校の周辺において、ドライバーの運転マナーが向上した。
- ・本事業によって「スクールゾーン」の路面表示を実施した箇所は、文部科学省・国土交通省・警察庁による平成 24 年度の「通学路における緊急合同点検」において、「継続して危ない箇所」として意見が出されることはなかった。

3. 取り組みにおける課題・留意点と工夫点

(1) 課題・留意点

- ・住民からの要請が主観的になり勝ちであるのに対して、客観データから危険箇所を抽出する必要があった。

(2) 取り組みにおける工夫点

- ・本田技研工業の車載ナビゲーションのデータを利用し、学校近辺の急ブレーキ多発（3 回以上）箇所を抽出することにより、設置箇所の選定にあたった。
- ・税の有効活用という観点からも、客観データに基づいた事業を実施することは好ましい。

(3) 今後の課題・展望

- ・本事業によって「スクールゾーン」の路面表示を実施した箇所において、実際に急ブレーキ回数等が減少しているのかどうか、客観的な検証が必要である。（平成 24 年度中に結果をまとめる予定）
- ・車載ナビゲーションのデータを利用した急ブレーキ多発箇所対策事業は、市の重点事業として 2 カ年に渡って実施した。平成 25 年度に事業実施の予定はない（スクールゾーン路面標示の施工自体については、25 年度以降も継続して実施）。
- ・小山市での道路事情が変化していく中で、中長期的スパンで整備箇所を検討していく必要がある。

4. 取り組みの状況

カーナビデータを活用した 危険箇所の解消（市道15ヶ所）

小山市では、HONDAカーナビゲーションシステムの走行データをもとに急ブレーキ多発箇所を特定し、その原因等を分析して道路の安全対策を進めています。

場所	対策前	急ブレーキ回数	対策後	対策実施の内容
1 網戸保育園 北西方T字路 交差点		10回		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「止まれ」路面表示 ○ 看板設置 ○ 反射テープ(正面ガードパイプ)
2 間々田4丁目信号 南東裏通り 東進		12回		<ul style="list-style-type: none"> ○ スクールゾーン路面表示 ○ 看板設置
3 中村機器南東角 丁字路交差点		7回		<ul style="list-style-type: none"> ○ スクールゾーン路面表示 ○ 「学童 交差点 注意」 ○ 正面カーブミラーに反射テープ
4 関東実行センター 入口十字路、南進		5回		<ul style="list-style-type: none"> ○ スクールゾーン路面表示 ○ 「学童 交差点 注意」

市町村人口 (平成23年3月31日)	交通安全担当職員数		
	専任	兼任	計
159,453人	10	0	10
年	平成21年	平成22年	平成23年
交通事故件数	952	890	724

【本件問い合わせ先】
栃木県小山市
市民生活部 生活安心課
0285-22-9497